

◎第2回理事会(38.7.25)出席者:山本会長,羽田専務理事,内田,江口,大石,佐々木,嶋,田中,竹ヶ原,前沢,三野,渡辺の各理事。A.協議事項:1)就業規則について三野理事説明があり原案通り承認。2)支部幹事長会議開催について羽田専務理事より説明があり承認。3)50周年記念式典の施行日について羽田専務理事説明,オリンピック終了後の適当な日を選定することで行事委員会に委任。4)第2回国際水質汚濁会議の募金の受領,保管ならびに払出業務受託について羽田専務理事より提案理由説明があり,つづいて三野,嶋両理事が補足説明し,衛生工学委員会幹事内藤幸穂氏より詳細の説明を聞き質問があったが審議未了に終わった。5)その他;a.定款改正の経過報告,b.50周年記念事業行事委員会の状況報告,c.記念出版事業に関する一般経過報告,d.大学土木教育委員会に関する報告(嶋理事説明),e.文部大臣に東京工大土木科増設に対する要望書を提出についての報告の説明が羽田専務理事よりあり承認。追加議題:1.「毎日新聞学術奨励金」応募の件を承認。2.つぎの研究発表会,講習会を開催したいむね羽田専務理事より説明があり承認。a.第6回地震工学研究発表会,b.第8回水理講演会,c.第10回海岸工学講演会,d.構造用軽量骨材に関するシンポジウム,e.第2回岩盤力学に関するシンポジウム,3.つぎの講演会,研究発表会ならびに講習会共催の依頼があったので検討の結果承認した。a.第13回応用力学連合講演会,b.プレストレスト・コンクリートの原子炉への応用講演会,e.第10回橋梁・構造工学研究発表会,d.第7回材料試験連合講演会,e.「ディフォームドバー」(異形鉄筋)講習会。4.科学技術庁に申請した原子力平和利用に関する研究「放射性廃棄物の海洋投棄用容器に関する試験研究」委託の決定通知があったむね報告。5)委員幹事委嘱について

- (1)耐震構造設計研究委員会
幹事追加 横山 章(国鉄岐阜工事局)
幹事交代 岡部達郎幹事転勤のため
後任 西脇 等(国鉄建設局)
“ 皆川葉一幹事転勤のため
後任 浜 健介(国鉄建設局)
- (2)P.C鋼材分科会
委員交代 名尾 邪 亘
後任 山康 登
(KK神戸製鋼所技術部)

(3)論文集委員会各部会委員追加
小寺重郎(国鉄新幹線総局)

(4)大学土木教育委員会

委員長	米屋 秀三	早稲田大学
委員	荒井利一郎	名古屋工業大学
	石原藤次郎	京都大学
	岩崎 敏夫	東北大学
	上田 明	西松建設KK関東支店
	内田 一郎	九州大学
	加納 治郎	建設省
	栗栖 義明	運輸省港湾局
	齋藤 義治	日本道路公団
	堺 毅	日本大学
	左合 正雄	東京都立大学
	佐藤 清一	日本建設コンサルタ ントKK
	嶋 祐之	東京大学
	白石 俊多	白石基礎工事KK
	扇田 彦一	東京水道局
	竹内 修	佐藤工業KK大阪支店
	竹下 春見	日本館道KK
	田中 茂	神戸大学
	友永 和夫	KK横河橋梁製作所
	林 泰造	中央大学
	福岡 正巳	建設省土木研究所千葉支 所
	堀 武男	富士製鉄KK
	真井 耕象	北海道大学
	三野 定	建設省道路局
	最上 武雄	東京大学
	吉越 盛次	電源開発KK
	和仁 達美	国鉄施設局
幹事	佐藤 吉彦	国鉄鉄道技術研究所
	林 茂樹	日本国土開発KK
	久我 啓裕	建設省河川局

(5)昭和38年度水理委員会

委員長	石原藤次郎	京都大学
副委員長	横田 周平	東京鉄骨橋梁KK
委員		
[北海道地区]	尾崎 晃	北海道大学
	山岡 勲	北海道開発局石狩川 工事事務所
[東北地区]	岩崎 敏夫	東北大学
[関東地区]	本間 仁	東京大学
	米元 卓介	早稲田大学
	左宝 保	日本大学
	左合 正雄	東京都立大学
	林 泰造	中央大学
	竹内 俊雄	水資源開発公団
	吉川 秀夫	建設省土木研究所
	岡部 保	運輸省港湾局
	浜田 徳一	運輸省港湾技術研究 所
	坂本 龍雄	電力中央研究所技術 研究所
	三村 誠三	東京電力KK建設部
	佐藤 清一	日本建設コンサルタ ントKK
[中部地区]	沢田 周次	中部電力KK水力部
[関西地区]	矢野 勝正	京都大学防災研究所
	永井莊七郎	大阪市立大学
	田中 茂	神戸大学
	速水頌一郎	京都大学
[中国・	杉尾捨三郎	徳島大学
四国地区]	樺 東一郎	山口大学
[西部地区]	藤芳 義男	熊本大学
	篠原 隆爾	九州大学
委員兼幹事		
[北海道地区]	岸 力	北海道大学
[東北地区]	三浦 晃	東北大学

[関東地区]	春日屋伸昌	中央大学
	嶋 祐之	東京大学
	千秋 信一	電力中央研究所技術 研究所
	高橋 裕	東京大学
	中山 謙治	電源開発KK土木試 験所
	細井 正延	建設省土木研究所
	堀口孝男	運輸省港湾技術研究所
[中部地区]	足立 昭平	名古屋大学
[関西地区]	芦田 和男	京都大学防災研究所
	石原 安雄	京都大学防災研究所
	岩垣 雄一	京都大学防災研究所
	岩佐 義朗	京都大学
	室田 明	大阪大学
[西部地区]	上田年比古	九州大学

(6)岩盤力学委員会委員

常任委員小川哲夫氏,長友弘樹氏と交代
常任委員藤樫博曉氏は委員とする。
新たに後任として片山祐一委員を追加
錦織委員は転勤のため退任。
B.報告事項:1)会計報告。2)刊行
物申込状況。3)会員の入退会報告。4)
その他。

◎各種委員会(38.6.27~38.7.22)

(1)学術講演連絡委員会第3回懇談会
(38.6.27)出席者:林委員長,伊藤委員,
ほか各大学学生25名。議事:1)「土木
工学系学生の集まり」について;今回か
ら,法政,芝浦工大,東海大の3校の代
表が出席し,標題について種々活発な意
見があった。最終的な案は次回(9月上
旬)に提示される予定である。

(2)第1回会誌編集小委員会(38.7.
4)出席者:八十島委員長,ほか委員お
よび幹事5名。議事:1)48巻9号の編
集方針を協議。2)巻頭言,時事論評欄
の新設について。3)今後の編集につ
いての意見。4)その他。

(3)第2回文献調査委員会(38.7.5)
出席者:千秋委員長,ほか委員および幹
事18名。議事:1)48巻9号登載抄録の
決定。3)文献調査委員会の活動につ
いて。3)アンケートについて。4)原稿
料について。5)パンチカード担当雑誌
の分担について。6)その他。

(4)衛生工学委員会小委員会(38.7.
9)出席者:広瀬委員長,ほか委員10
名。議事:1)第2回国際水質汚濁研究
会議開催について協議。

(5)大学土木教育委員会(38.7.10)
出席者:米屋委員長,ほか委員および幹
事24名。議事:1)嶋祐之氏による委
員会設置までの経過報告。2)互選の結
果米屋秀三氏を委員長に決定。3)幹事
互選の結果嶋 祐之氏を幹事長に決定。
幹事に増岡康治(建設省大臣官房技術調査官)
丹羽義次(京都大学)追加決定

4)大学土木教育委員会内規説明ならび
に検討。5)委員会構成の主旨,大学13,

他 17, 計 30 名。6) 委員会は年 4 回程度開催し, 幹事会は毎月 1 回くらい開く。7) 10 月から 11 月に報告会を開く。8) 委員会の成果を効果あらしめるよう努力する。9) その他。

(6) 第 1 回土木学会 50 周年記念事業行事委員会 (38.7.10) 出席者: 田中委員長, 加納副委員長 (代大塚), 末森前専務理事, ほか委員 12 名。議事: 1) 行事を 3 部門にわけて分担者を定めて実施案を至急作成する。

第 1 部: 式典, 講演会, 祝賀会・岡本副委員長 (部長), 飯吉, 亀掛川, 仁杉, 宮地の各委員

第 2 部: 建設展・加納副委員長 (部長), 内田, 清水, 水越, 山川の各委員。

第 3 部: 見学会・中島副委員長 (部長), 大野, 岡沢, 小林, 三島の各委員。2) 第 2 部を一般に対する PR を主としてアイデアは各委員よりの提案をまとめる。3) PR 関係は総務委員会より行事委員会に入れた方が適当である。4) PR の種類等については部外の有力者の意見を聞く必要がある。この件は会長が業界 (鉄鋼, セメント, 自動車業) の代表者を招いて懇談会を催したらよい。

(7) 大学土木教育委員会幹事会 (38.7.17) 出席者: 米屋委員長, 嶋幹事長, ほか委員 3 名, 幹事 2 名。議事: 1) 委員会の経過報告 (佐藤幹事)。2) 協議事項の内容: 昭和 36 年, 37 年度大学土木科関係卒業生に対する採用申込数と就職者数の実態調査一覧表により, 土木技術者数の不足を検討し, あわせて業界の大学教育に求めているもの等の討論を行なう。各幹事分担として各界よりデータを集め次回幹事会で討議する。委員会の発言をどう実行してゆくか, 幹事会でその準備をする。公式議事録を作成する。38 年 10 月中旬報告, 39 年 3 月年度報告を行なう。現在までの大学の増強実績, 都市計画の伸び率, などを次回幹事会までの宿題とする。

(8) 第 2 回論文集各部委員会 (38.7.17) 出席者: 第 1 部会・奥村部会長, ほか委員 6 名, 第 2 部会・委員 5 名, 第 3 部会・三木部会長ほか委員 4 名, 第 4 部会・村田部会長, ほか委員 3 名, ほか西脇幹事。議事: 1) 前回部会長報告。2) 各部会ごとに審査報告。3) 各部会で新規受付原稿審査委員の決定。4) 委員の追加の件。5) その他。

(9) 水理公式集幹事打合せ (38.7.29) 出席者: 幹事 4 名。議事: 水理公式集校閲事務, その他さく引作製など行なった。

(10) 海岸工学委員会第 1 回論文編集委

員会 (38.6.27) 出席者: 本間委員長, ほか委員 4 名。議事: 1) Coastal Engineering in Japan, Vol. 6 の編集について。2) 第 10 回海岸工学講演会講演集の編集について。3) Coastal Engineering in Japan Vol. 1~5 の配布等について。4) その他。

(11) トンネル工学委員会調査小委員会 (38.6.28) 出席者: 村山主査, ほか委員 9 名。議事: トンネル標準示方書調査編の条文について小委員会における最終の審議をした。

(12) 本州四国基礎に関する専門部会第 18 回幹事会 (38.7.2) 出席者: 広田副部会長, 国鉄側幹事 7 名, 建設省側幹事 8 名, ほか関係者 6 名。議事: 1) 講演 2 題。2) 基礎部会予定について。3) その他。

(13) 第 1 回耐震構造設計研究委員会 (38.7.5) 出席者: 岡本委員長, 久保幹事長ほか委員 13 名, 幹事 18 名。議事: 1) 委託者挨拶。2) 委員長挨拶。3) 委員および幹事紹介。4) 昨年度の研究経過について。5) 今年度の研究計画について。6) 自由討議。

(14) 本州四国耐震設計小委員会第 4 回幹事会 (38.7.12) 出席者: 岡本委員長, ほか委員 15 名。議事: 1) 前回議事録の確認。2) その他。

(15) 第 2 回原子力関係コンクリート小委員会 (38.7.15) 出席者: 国分委員長, ほか, 委員 19 名, ほか 4 名。議事: 1) 再処理廃液とその処分一特にその性質とコンクリート固化について
講演 石原 健彦
2) 放射性廃棄物の海洋投棄について
講演 佐々木忠義
3) 研究費の配分について。4) 容器の設計案について。5) 弁の構造について。6) 次回委員会について。7) その他。

(16) 第 6 回 PC 鋼材分科会 (38.7.15) 出席者: 富田主査, ほか委員 7 名, 幹事 2 名。ほか 6 名。議事: 1) 新幹線弁天島向 7φ PC 鋼線 (中間報告)。2) 弁天島橋梁工用 PC 7φ 鋼線の疲労試験。3) 雄コーン押込中の切断事故について。4) プレストレッシングの管理 (案) について。5) 引張速度の変化による "E" の測定結果について。6) PC 鋼線立合検査成績表。7) PC 鋼線長期リラクゼーションテストについて。8) 新旧 BS 規格の比較。9) 経過報告。10) 委員の交代

名児邪 亘氏 後任 山腰 登氏 (KK 神戸製鋼所)

11) その他。

(17) 耐震構造設計研究委員会第 1 回幹事会 (38.7.19) 出席者: 久保幹事長, ほか委員 5 名, 幹事 15 名。議事: 1) 荒川地震測定について。2) 土木建造物の耐震設計指針 (案) について。3) その他。

(18) 第 3 回岩盤力学常任委員会 (38.7.19) 出席者: 岡本委員長, ほか委員 22 名。議事: 1) 分科会構成について。2) 第 2 回岩盤力学シンポジウムについて。3) 文献目録作製専門委員の選定。4) 岩石 Museum 専門委員の選定。5) 境川の岩盤試験について (講演)。6) 次回委員会について。7) その他。

(19) 第 12 回原子力土木技術委員会 (38.7.22) 出席者: 左合委員長, ほか委員 9 名, ほか 1 名。議事: 1) 前回議事録の確認。2) 原子力コンクリート小委員会の経過報告。3) 原子力分野における土木工学。4) 水理学における放射性同位元素の利用に関する問題。5) 立地基準について。6) 地下発電所について。7) 安全対策について。8) 次回委員会について。9) その他。

◎その他

(1) 第 21 回関東地区学生諸君のための映画会

日 時: 昭和 38 年 7 月 13 日 (土)
14.30~16.00

参加者: 16 名

上映映画: (1) 下水の科学, (2) 水道と生活, (3) 小河内ダム

(2) 橋梁構造工学研究発表会打合せ

日 時: 昭和 38 年 7 月 17 日 (水)
出席者: 友永, 加藤, 伊藤の各氏
議 事: 第 10 回橋梁構造工学研究発表会 (38.10.9) 実施要領を打合せ決定した。

(3) 中部支部顧問 永田民也名誉員
昭和 38 年 7 月 9 日死亡のため (明治 17 年 11 月 6 日生, 東大明治 41 年 7 月卒, 名誉員 昭和 35 年 5 月 28 日) 花輪および申電登信

支 部 だ よ り

◎北海道支部

(1) 第 1 回商議員会 (38.7.8, 日の出ビル 6 階) 出席者: 上戸支部長, 林幹事長, ほか商議員 15 名, 事務局員 1 名。議事: 1) 新支部長上戸斌司氏の挨拶。2) 昭和 38 年度支部予算について。3) 昭和 38 年度支部事業について; ①見学会の件, ②講演会の件, ③映画会の件。4) 事務局開設について。5) 支部規定の改正委員の選任について

委員長 板倉忠三, 委員 林 正道, 岸 力, 小原福二, 伊福部宗夫の5氏が選任された。

6) その他の議事

- ① 技術資料原稿の件,
- ② 名誉員推挙の件

◎関西支部

(1) 第1回見学会(名神高速道路試乗会)(38.6.28) 名神高速道路完成区間(豊中インターチェンジ～栗東インターチェンジ)を高速バス2台にて, 午前および午後の2回にわたり試乗, 見学した。参加者157名(午前の部75名, 午後の部82名, 参加費200円)。

(2) 第2回見学会(琵琶湖大橋下部工事見学会)(38.7.10) 琵琶湖大橋下部工事を見学, 参加者60名, 参加費300円。

(3) 通俗講演会(名神高速道路と黒部川第四発電所完成記念講演と映画の会)(38.7.13, 大阪市中央公会堂)

講演①名神高速道路について

日本道路公団高速道路
大阪建設局工事部長 池田 雄二

代講 * 設計第一課長 馬越 焦一

②黒部川第四発電所について

関西電力KK
建設部長 吉田 登

映画①私に高速道路

②大いなる黒部

参加者 460名, 参加費無料

(4) 第3回幹事会(38.7.16, 土木学会関西支部事務局) 出席者: 石田支部長, 松尾幹事長, ほかに幹事7名。

◎中国四国支部

(1) 第1回見学会(38.6.28)

見学場所: 名神高速道路

行程: 14.00 大阪駅西口発～豊中インターチェンジ～栗東インターチェンジ～茨木インターチェンジ～鳥飼大橋～大阪東口着解散

記事: 梅雨の時節にもかかわらず好天に恵まれ, そのうえ車中では道路公団の担当者より懇切な説明があり, 有意義に見学会を終了した。

参加者: 76名, 参加費: 200円

(2) 第4回幹事会(38.7.2, 会議所ダリル会議室)

出席者: 銀山幹事長, ほかに幹事5名, 小野主事。

議題: 1) 「支部管内代表的記事」の提供について; 支部管内の著名工事として, 福山臨海工業地帯造成工事について取材先を問合わせ調査のうえ, 本部に連

絡する。2) 綱干評議員の国際会議参加について。3) 支部行事の企画についてつぎのとおり計画した。

①講習会: 日時 7月下旬もしくは8月上旬

場所 広島市基町1番地 合同庁舎大会議室

題目 「最近の法面保護工について」

講師 中国地建 安達経治

「宅地造成等規制法」

講師は県において選定する。

②第15回支部学術講演会

日時 10月29・30日 学術講演会

10月31日 見学会

場所 広島市中島町 広島市平和記念館

③第2回見学会

日時 8月下旬

場所 大山登山道路(道路公団),

皆生海岸浸食対策(建設省),

境港港湾整備事業(運輸省),

中海干拓事業(農林省)

④その他; その後の会員増強について幹事長より説明あわせて前事務局において依頼された事業所について,

その後の経過を確認すること。

編集
後記

東京4回, 苫小牧, 京都, 神戸, 北九州各1回と, 学会誌の座談会も全国的

な行事になりつつあります。企画, テーマ, 細目の打合せ, 出席者・司会者の選定と交渉, 会場の手配から速記者の交渉など, わづか二, 三時間の座談会のために費やされる労力は実に大変なものです。そのたびに支部の方々にはえらい御迷惑をおかけし, 誠に申し訳なく存じます。出席者の方々にも, 刷上がったものを御覧になって, びっくりされるほど, 発言が短縮されることがありますが, 全体を半分から三分の一に縮めるための, やむを得ない措置として御諒承いただきたいと思ひます。今後もトピックス, 身近な問題などを逐次とりあげ, 充実した欄に育てたい

と考えておりますので, どしどし御注文をお寄せ下さい。

× × ×

九州の特集は北海道につぎ前から懸案の記事のひとつでした。あとがきにもあるように, 支部として西日本災害記録以来の大仕事だったそうで, 山内先生はじめ取りまとめにあられた皆様の御協力に対し, 厚く御礼申し上げます。北海道も九州も, 今後はこの種の記事を土台にして, 定期的に整理してゆき, 毎年もしくは二年に一度くらい支部の特集号を出したいと存じます。他の支部にも今後いろいろと働きかけて, この種の特集を考えたいと思ひます。関東はどうだと聞かれそうでございますが, これも有益な記事を準備中であると約束しておきます。

毎号, 学会誌が厚くなる一方なのですが, 広告の増加もまた見逃せない事実です。誌面が平易になると広告もふえるという計算かも知れませんが, スポンサー各位の御援助を感謝するとともに, 専門家が読むにたる有益な資料広告をお願いしたいと存じます。

× × ×

最近の学会誌は, 読み物が多すぎる……というお叱りも一部の会員から頂戴しており, 深く反省し対策を考えております。多数の方々から愛される学会誌としてのあり方を追求すると, 実際仕事に役に立つ記事はやはりふやすべきで, 決して開拓の努力を怠っている訳ではありませんので, 長い目で暖かく見守って頂ければ幸いです。(事務局編集課)

昭和38年度土木学会誌編集委員

委員長	八十島 義之助				委員兼幹事		松本 茂男
委員	石井文雄 齊藤俊彦 新谷洋二 森重雄	梅田卓郎 城野忠雄 原田信昭 森本茂男	遠藤篤康 千秋信一 藤井喬昭 湯浅昭	大山忠昭 土屋昭夫 町田富士夫 渡辺隆	後藤績雄 奈良部俊雄 三池亮次	佐藤尚徳 南部繁春 森麟	
地方委員	(北海道支部) 菅原照雄 河野文弘	(東北支部) 三浦晃 阿部泰夫	(中部支部) 酒井清太郎 増田重臣	(関西支部) 赤尾親助 西村昭	(中四支部) 長尾満 門田博知	(西部支部) 小坪清真 長友文昭	

会員入退会について(昭和38.7.1~7.31)

入会	113名	(正 52 学 55 特 1.C 1 特 1.D 5)
復活	8名	(正)
退会	15名	(正 13 特 1.C 1 特 1.D 1)
死亡	2名	(名誉 1 正 1)
転格	5名	正→学 2 学→正 2 特 1.C→特 1.A 1

特別員の入退会

○入会

昭和38.7.1	特 1.C	北炭建設KK	札幌市北1条西2丁目
" "	特 1.D	札幌開発建設部長	札幌市南1条西18丁目
" 7.19	"	函館開発建設部	函館市梁川町7番地
" "	"	東新コンクリート工業KK	東京都中央区西8丁目 4の10 千賀ビル
" "	"	豊平製鋼KK	札幌市豊平1条9丁目 115番地
" 7.25	"	木田建業KK北海道支店	札幌市北1条東2丁目 5
" 6.18	"	東京都土木技術研究所	東京都港区芝高浜町 10番地

○退会

昭和38.7.30	特 1.C	日本国有鉄道東京鉄道管理局施設部長	東京都千代田区丸ノ内 1の1
" 7.22	特 1.D	首都高速道路公団第2建設部	東京都渋谷区代々木 1の2

○転格

昭和38.7.1	特 1.C→特 1.A	日本セメントKK	東京都千代田区大手町 1の1 大手町ビル 6階
----------	-------------	----------	----------------------------

会員現在数(昭和38.7.31現在)

名誉	正員	学生員	賛助	特級	特 1.A	特 1.B	特 1.C	特 1.D	特 2	計	(増)
51	14314	1667	30	18	16	40	193	287	25	16641	(104)

名誉員	永田民也君	豊橋鉄道KK嘱託	昭和38.7.9 死去	79才
正員	永井寛君	大成建設KK札幌支店次長	昭和37.10.26 死去	52才

昭和38年9月10日印刷

昭和38年9月15日発行

土木学会誌 第48巻 第9号

印刷者 大沼正吉

印刷所 株式会社技報堂

東京都港区赤坂溜池5番地

発行者 羽田巖

発行所 社団法人土木学会

東京都新宿区四谷一丁目

定価 200円(送料20円)

振替 東京 16828 番

電話 (351) 5130・5138・5139 番